

【1 分解説】情報インテグリティ(Information Integrity)とは？

総合調査部 主任研究員 田村 洸樹

情報インテグリティ (Information Integrity) とは、情報の正確性、一貫性、信頼性を指す概念です。「人々がアクセスする情報が、正確で一貫性があり、信頼できること」と言い換えることもできます。

2023 年 6 月に国連は報告書「デジタルプラットフォームにおける情報インテグリティ (Information Integrity on Digital Platforms)」を発表しました。この報告書は、SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) 等のデジタルプラットフォームにおける偽情報、誤情報、ヘイトスピーチ等が社会の分断や対立を引き起こし、民主主義や人々の基本的な権利を脅かす可能性があるかと警告しています。

パンデミックや気候変動などの地球規模の課題解決に向けて、人々が一致団結して取り組むことが求められる中、デジタルプラットフォーム上の情報が「正確で一貫性があり、信頼できる」ということは、国や人々の安全保障の観点からも重要であることが認識されつつあります。

国境を越えたインターネット上での情報インテグリティの確保には、複数の国や様々な利害関係者 (政府、企業、市民社会等) との連携が欠かせません。2023 年以降、国際的な取組みが国連や OECD などを中心に始まっており (資料)、今後の展開が注目されています。

資料 2023 年以降の主な国際的な取組み

時期	名称	主体
2023 年 6 月	デジタルプラットフォームにおける情報インテグリティ (Information Integrity on Digital Platforms)	国際連合 (国連)
2023 年 9 月	オンライン上の情報インテグリティに関するグローバル宣言 (Global Declaration on Information Integrity Online)	カナダ・日本 など 36 ヶ国
2024 年 6 月	情報インテグリティのための国連グローバル原則 (Global Principles For Information Integrity)	国際連合 (国連)
2024 年 11 月	情報インテグリティに関する勧告案 (Draft Recommendation on Information Integrity)	経済協力開発 機構 (OECD)

(出所) 第一生命経済研究所作成